

令和6年第1回定例会の提出議案等と審議結果

●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
第1号議案	令和5年度ふじみ野市一般会計補正予算(第8号)	可決	第14号議案	ふじみ野市監査委員に関する条例の一部を改正する条例	可決
第2号議案	令和5年度ふじみ野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	第17号議案	令和6年度ふじみ野市国民健康保険特別会計予算	可決
第3号議案	令和5年度ふじみ野市介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	第18号議案	令和6年度ふじみ野市介護保険特別会計予算	可決
第4号議案	令和5年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	可決	第21号議案	令和6年度ふじみ野市下水道事業会計予算	可決
第5号議案	ふじみ野市手数料条例の一部を改正する条例	可決	第22号議案	ふじみ野市文化施設整備事業建設工事請負変更契約の締結について	可決
第6号議案	ふじみ野市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決	第23号議案	ふじみ野市道路線の廃止について	可決
第7号議案	ふじみ野市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	可決	第24号議案	ふじみ野市道路線の廃止について	可決
第8号議案	ふじみ野市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	第26号議案	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第9号議案	ふじみ野市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	第27号議案	訴えの提起について	可決
第10号議案	ふじみ野市立児童発育・発達支援センター条例の一部を改正する条例	可決	第28号議案	ふじみ野市税条例の一部を改正する条例	可決
第11号議案	ふじみ野市空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例	可決	委第1号議案	市長の専決処分事項の指定についての一部を改正することについて	可決
第12号議案	ふじみ野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決			

●賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対

議案番号	議案名	議決結果	青藍会							公明党			日本共産党			会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない	会派に属さない		
			川島秀男	前田広子	鈴木宏樹	板倉篤	原田雄一	加藤恵一	小林憲人	山田敏夫	古越孝子	鈴木美恵	川畑京子	島田和泉	足立志津子	田中早苗	床井紀範	塚越洋一	金濱高頭	坪田敏孝	鈴木啓太郎	近藤善則
第13号議案	ふじみ野市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	欠席	×	×	○	○	○	○	○
第15号議案	ふじみ野市立公民館条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	欠席	×	×	○	○	×	×	○
動議	第15号議案 ふじみ野市立公民館条例を廃止する条例に対する附帯決議	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	○	欠席	○	○	×	×	○	○	×
第16号議案	令和6年度ふじみ野市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	欠席	×	×	○	○	○	○	○
第19号議案	令和6年度ふじみ野市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	欠席	×	×	○	○	○	○	○
第20号議案	令和6年度ふじみ野市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	欠席	×	×	○	○	○	○	○
第25号議案	教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	欠席	×	×	○	○	○	○	○
請第1願号	ふじみ野市立公民館条例と上福岡西公民館を廃止しないことを求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	○	欠席	○	○	×	×	○	○	×

※議長は採決には加わっていません。

令和6年度

一般会計予算討論

賛成多数で可決

賛成

新年度予算は約470億で過去2番目の規模

青藍会 原田雄一 議員

歳入は、市税収入が約171億2700万円計上されている。

歳出は、ふじみ野ステラ・イーストホール棟の整備工事、学校校舎や上福岡図書館の大規模改修工事等が計上され、ソフト面でも自治組織や自治防災組織の活動支援をはじめ、生活支援コーディネーターの増員や新たに民生委員協力員制度の導入、こども医療費の拡充、こども家庭センターの設置等の予算が計上されている。

これらは、本市を取り巻く環境や変革する社会・経済情勢への対応が積極的に図られた予算措置であり高く評価できる。

反対

市民生活を守る独自の施策展開が不十分

日本共産党 塚越洋一 議員

物価高騰、実質賃金低下という現実に対する市民生活を守る施策については、一定の努力が一部には見られるが、全体としては極めて不十分である。

大型事業などの投資的経費については、積み立て過ぎている基金を効果的に充当したことにより市の財政は極めて順調かつ健全に推移している。

一方で、物価高騰に対応できるだけの基金を持たない市民の家計は破綻寸前に追い込まれている。学校給食費の無償化も実現されていない。

賛成

持続可能な公共施設サービスに期待

公明党 古越孝子 議員

本予算は約470億7千万円となり、前年度と比較して約8億500万円の減額となった。

歳入では、自主財源の根幹となる市税で、個人市民税の定額減税などにより減額が見込まれるが、国の交付金として補てんされるため、税収としては実質増となっている。

歳出では、各種公共施設の整備を行うため、普通建設事業費全体で約49億4千万円が計上された。持続可能な公共施設サービスの提供につながる予算と評価し、さらなる市民サービスの向上につながるものと期待している。

賛成

セキュリティに配慮したAIの導入を

会派外の議員 金濱高頭 議員

予算編成の内容は物価高騰対策をはじめ、市民活動や市内イベントの活性化、子どもと子育て家庭への支援、災害対策の強化や行政サービスのデジタル化を引き続き実施するために賛同ができるものと考えている。

チャットGPT 4.0の導入に当たっては、先端技術に対応したものと理解する。運用に当たりファクトチェックを必ず行うこと、セキュリティにおいて多角的に考察し常に注意をして扱っていくこと、選択には人が意思決定に関わることを強く要望する。